

淡路語り部宣言

私たち「被災地語り部」は全国から阪神・淡路大震災被災地、兵庫県淡路市に集い、2月26日、27日の2日間、各地における取組み、課題、希望を伝え、議論しました。

閉会にあたり、誰もが「語り部」であり、私たちは「命を守る」ため次世代へ教訓を伝え、共に「未来知」をつむぎだすことを宣言します。

1. 国内外のあらゆる自然災害、歴史を学び、自身、地域の経験を記憶・記録し、「命を守る」ため、次世代、そして未災地へ広く伝える活動を実践、支援します。
2. 2回のシンポジウムを経てつながった全国の語り部との交流ネットワークをさらに広げていきます。これらの交流を地震、津波、噴火、風水害、土砂災害、火災など様々な自然災害と多様な語り部の活動を理解する一助とし、自身の語り部活動の学びとします。
3. 自然災害の脅威から生き残り、生き延びるため、備えとしての自助・共助・公助を語り部の視点から広げ、つなげていきます。そのために様々な提案を行います。

語り部の人智を共有し、タテのつながり、ヨコのつながりを広げ、防災・減災・縮災を実現するために被災地、未災地においてフォーラムを開催していきます。

第2回全国被災地語り部シンポジウム in 西日本

淡路夢舞台国際会議場において

2017年2月27日